

平成29年度予算案の査定を終えて



名寄市長 加藤 剛士

平成29年度予算査定は、平成28年12月から平成29年2月にかけて実施し、平成29年2月20日に、平成29年度予算案を記者発表いたしました。

平成29年度の各会計予算案は、名寄市総合計画（第2次）の将来像の実現に向け、確実な一步を踏み出すためにも、健全な財政を基調としながら、重点プロジェクトや総合戦略を中心とした様々な施策や事業の展開、さらには未来への投資を着実に実施していくことなどの基本的な考え方のもと、また、平成28年度における地方創生のさらなる深化に対する国の補正予算なども活用し、予算編成をいたしました。

平成29年度予算の主な事業をお知らせいたします。

主な事業の査定内容です

単位：千円

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
ふるさと納税の推進 名寄市においても、平成20年度よりふるさと応援寄附を開始してきておりますが、ふるさと納税専門サイトを活用したPR強化を図るとともに、返礼品の見直しを行うことで、さらに名寄の魅力を発信していきます。 また、寄附目的についてもわかりやすくすることで、寄附金の有効活用により名寄市が目指すまちづくりを推進していきます。	要求額				6,581	平成27年度にふるさと納税制度が拡充されたことに伴い、多くの自治体もふるさと納税に力を注ぎ、現在は多種多様なアプローチがされております。 名寄市においても、過度な返礼品にならないよう配慮しながら、目的の明確化や内容の拡充、プレゼンテーションの強化などにより、寄附金額20,000千円を目標に取組みを進め、自主財源の確保に努めていきます。
	査定額				12,985	
	○実施					

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
地域連絡協議会等活動交付金 各地域連絡協議会の活動を支援するため、町内会単位の枠を超えた事業等に対し助成を行います。 運営費助成については現行通りの助成となりますが、活動費助成については、継続事業であっても、助成額を100千円を上限に助成するようあらため、市民主体のまちづくりを進めていきます。	要求額 2,075 査定額 1,175 △一部見直し				2,075 1,175	要望が多かった活動費に係る助成については、利用しやすい助成制度として見直しをおこないました。 予算要求では、まちづくりモデル事業支援金として地域課題を解決するため、事業計画の作成・実施を行うモデル事業の要求がありましたが、地域の実情を把握するとともに、地域自治組織のあり方について、あらためて庁内議論が必要とのことから先送りいたしました。
新ごみ処理施設基本構想の策定 旧清掃センター解体、リサイクルセンター整備とあわせ炭化センターの次期施設を一体的に検討することにより、効率的なごみ処理体制、必要となる中間処理施設等について基本構想を策定します。	要求額 6,480 査定額 6,480 ○実施				6,480 6,480	名寄地区衛生施設事務組合が管理運営を行っている炭化センターは稼働から13年経過しています。また、老朽化が著しい旧清掃センターへの対応、さらにはリサイクルセンターの整備などこれからの「ごみ処理の体制」や「施設整備」については、名寄市のみならず、衛生施設事務組合の構成町村との意見も踏まえながら、早急に検討していかねばならない喫緊の課題の一つです。 そのため、各関係機関との協議を通じ、基本構想を策定していきます。
婚活応援事業補助金 人口減少、少子化対策を盛り込む「名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、独身者の結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組みの一環として「婚活応援事業」に対し、支援しようとするものです。	要求額 400 査定額 0 × ゼロ査定				400 0	平成28年度に引き続き「婚活応援事業」に対する支援へ予算要求がありました。若者の晩婚化や少子化問題、さらには商工業、農業者の後継問題を解消すべく男女の出会いの機会をつくり、結婚への意識付けを強めることは重要ではありますが、事業内容や手法等について再度検討すべきと判断し、ゼロ査定としました。

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
介護人材確保緊急対策事業 介護人材不足の解消を目指し、介護職員初任者研修の受講費用等を助成します。また、介護職員の確保・定着に向け、介護ジョブカフェや介護保険事業所向けの研修会などを開催します。	要求額				1,930	介護人材の慢性的な不足により市内の特別養護老人ホームや介護保険事業所においても定員を満たすことができない状態や事業拡大ができない状態にあります。 介護人材の確保対策は重要な課題・施策として捉え、本事業は平成28年度の補正において開始してきておりますが、平成29年度においては研修会の開催や介護ジョブカフェといった新たな事業の展開も実施し、介護人材の確保、定着、掘り起こしに向けた対策を強化していきます。
	査定額				1,930	
	○実施					
屋根雪おろし安全確保特別対策事業 高齢者を中心に屋根雪おろし中の事故が多発していることから、福祉的支援の必要な70歳以上の方のみの世帯に対し、屋根の雪おろしに係る費用について助成制度を創設しようとするものです。	要求額				2,600	本事業については、平成28年度予算査定で一度ゼロ査定としておりますが、この間も、高齢者の雪による被害を防止していくため、広報紙や介護予防教室などで注意喚起してきておりました。しかしながら、経済的負担や体力等の自信から自ら屋根に上がる高齢者の方が多く、残念な事故も発生しています。 屋根の雪おろし中の事故は死亡事故にもつながる恐れもあります。高齢者の方には屋根に上がらないよう引き続き注意喚起していきますが、「屋根の雪おろしは業者にお願いすること」を奨励する制度の創設により、高齢者の事故防止を図っていきます。
	査定額				2,600	
	○実施					

事業名及び概要	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	市債	その他特財	一般財源	
保育環境の充実 ひまわりらんどや市立保育所に夏期の高温多湿や冬期の寒さを解消するため、冷暖房および除湿機能を備えたエアコンを設置します。 ①地域子育て支援センター「ひまわりらんど」1階プレイルームにエアコンを設置します。 ②市立3保育所（東・西・南）乳幼児室にエアコンを設置します。	要求額 7,069				7,069	ひまわりらんどは開所以降、地域の子育て支援の拠点として多くの親子にご利用いただいております。就学前の乳幼児が利用する重要な施設であることから、平成28年度においても一部改修を実施し、子育て支援の環境改善に努めてきました。 平成29年度は、1階のプレイルームにエアコンを設置し、さらなる子育て環境の充実を図ります。なお、2階にもエアコン設置の予算要求がありましたが、使用頻度を考慮し、1階部分のみの設置としました。 3つの市立保育所については、非常に老朽化が進んでおりますが、少しでも安全で質の高い保育を実施するためにも、乳幼児室にエアコンを設置いたします。 引き続き、安心して子育てができるまちづくりを目指し、事業や施策を展開していきます。
	査定額 5,469 △一部見直し			5,400	69	
特定不妊治療費助成事業 体外受精、顕微授精及び男性不妊治療に要する費用の一部を助成し、「こどもを望まれるご夫婦」の経済的負担を軽減します。 特定不妊治療を受け、治療費の総額から北海道の助成額を控除した額に対し、治療内容に応じて15万円または7万5千円を上限として助成する制度です。	要求額 1,050				1,050	全国的な晩婚・晩産化が進行している中、名寄市においても出生数が年々減少しています。人口減少を抑制するためには、出生率を向上させることは重要です。 こうした現状において、不妊に悩むご夫婦に必要な施策として心身、費用などの負担を少なくするために、特定不妊治療費の一部を助成し、より安心して安全な妊娠・出産を促していきます。
	査定額 1,050 ○実施				1,050	

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
ICT農業の推進 急速な進歩を見せてきている情報通信技術（ICT）を農業分野で利用し、効率的な農業を推進します。 平成29年度はGPS基地局への支援と農業振興センターにおいてスマートハウスの実証実験を実施します。	要求額 3,376				3,376	国や北海道においてスマート農業の振興が示されるとともに、地域の農業者からも使用環境の整備について多くの要望が寄せられています。 また、次期の名寄市農業農村振興計画においては、GPSを含めICT技術について作業負担の軽減や効率化、精密化を図るものとして導入を推進しています。 こうしたことから、ICTを活用して労働負担の軽減のみならず、生産性の向上、女性農業者や農業担い手への支援を図るため、予算を計上しました。
	査定額 3,376 ○実施				3,376	
農業担い手支援事業 これまでの農業担い手支援を見直し、新規就農者の確保に向けた就農体験の取組みや新規就農者の就農時に係る初期投資の負担軽減及び農業後継者の育成・支援に取り組めます。 また、支援策の一部について「JA道北なよろ」と協調しながら、新規就農の確保・担い手の育成に取り組んでいく予定です。	要求額 17,698				17,698	農業の担い手不足や農業者の高齢化により、名寄市の農業者数は年々減少傾向にあります。一方で新規就農者は毎年一定数確保されていますが、地域農業を維持するうえでは十分と言える状況ではありません。 名寄市の基幹産業は農業であり、農業の活性化がまちづくりにおいても非常に重要であることから農業担い手を確保する取組みをこれからも推進していく必要があります。 今回、さまざまな方々との意見交換により新規就農者、農業後継者に対し、今までの支援からよりきめ細かな支援策として拡充し、持続可能な農業を推進していきます。
	査定額 17,698 ○実施				17,698	

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
販売促進事業補助金 市内の販売店における消費を喚起するため、夏、冬の大売り出しイベントに対し経費の一部を補助しようとするものです。	要求額 1,000 ----- 査定額 0 × ゼロ査定				1,000 ----- 0	夏、冬の大売り出しイベントは、市民の認知度は高まっているものの、この実施方法にて、すでに複数年実施していること、消費動向など実態の把握がつかめていない状況であることなど、あらためて消費喚起に向けた取組みの検討が必要と判断し、ゼロ査定としました。
なよろ温泉整備事業 名寄市唯一の温泉施設として市民の健康増進とともに、ビジネス・合宿・観光客の受入を行っている「なよろ温泉サンプラー」の温浴施設に対し整備を実施しようとするものです。	要求額 200,000 ----- 査定額 0 × ゼロ査定				200,000 ----- 0	施設の老朽度や緊急度、過去の調査事業等を踏まえ、温浴施設の改修についての予算要求がありましたが、予算査定を通じ、改修内容や工期など引き続き、検討していく必要があると判断し、ゼロ査定としました。 しかしながら、まずは先行して、名寄振興公社と協議し、名寄日進地区へ向かうバス料金を無料とし、市内唯一の公共温泉である「なよろ温泉サンプラー」への利便性の確保や健康の森、ピヤシリスキー場など名寄日進地区の公共施設の利活用の促進を目指していきます。
レンタル&ゴー事業 自主的に道路排雪を行なう町内会に対し、重機（タイヤショベル・排雪ダンプ）を無償で貸し出しします。 町内会では、運転手等を含めた作業全般を行なっていただきます。 平成29年度はモデル事業として3町内会を公募により選定し、1町内会に対して1シーズン3回までの貸し出しを行います。	要求額 1,000 ----- 査定額 1,000 ○実施				1,000 ----- 1,000	多くの市民の皆さんから「除排雪体制の充実」に対し数多くのご意見、ご要望をいただきます。 名寄市においても、平成28年度予算査定時に「小型除雪機購入助成事業」を検討しましたが、事業の制度設計など課題の整理が必要であったため、一度ゼロ査定とし、あらためて関係機関と協議を行ない、地域と行政が連携を図りながら実施する除排雪体制について模索してきました。この事業はそうした協議での意見を具現化した事業であり、地域の共助をぜひ活用させていただき、冬期間の道路空間の確保に対し支援していくものです。 この事業が、市民のニーズにきめ細かく対応できる事業となることを期待しています。

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
市営住宅環境整備事業 市営住宅を長期に活用できるよう長寿命化工事を実施し、安心して暮らせる住宅を供給します。 新年度は、下記の2つの団地について、設計や工事を行います。 ①風舞団地改修実施設計 ②ノースタウンなよろ団地改修工事	要求額 144,000 査定額 146,700 △一部見直し	62,500 63,700	81,500 83,000		0 0	現在、市営住宅の整備として、北斗・新北斗団地の建替えと改善工事を中心に実施していますが、そのほかの市営住宅においても、長期間、有効に活用する方が必要です。 今回、風舞団地の改修工事に係る実施設計及びノースタウンなよろ団地改修工事を実施します。
救助工作車の導入 火災や交通事故、自然災害など普段の暮らしの中で起こるさまざまな救助事案に対応できる救助工作車を導入します。 この車両には救助資機材はもちろんのこと、クレーン装置やウインチ装置、照明装置も装備しており、救助活動の第一線で活躍します。	要求額 90,506 査定額 90,506 ○実施		90,300 90,300		206 206	現在、名寄消防署には救助工作車がありません。そのため、救助活動には、消防ポンプ自動車に救助資機材を積載して救助工作車の代替車として運用していますが、代替車であることから、救助資機材等不十分な状態でした。 今般の高規格道路の整備の状況から重大事故の発生も危惧されます。 また、主要幹線の国道40号沿線では、旭川市以北稚内地区までの間は救助工作車が配備されていない状況であることから、広域的な観点からも、平成29年度に導入し、市民の安全安心と迅速な救助体制の構築を図っていきます。
風連中央小学校校舎・屋内運動場等改築事業 名寄市内小中学校適正配置計画に基づく老朽化、未耐震化施設の改築事業で、現在の風連中央小学校の敷地内に新校舎・屋内運動場などを建設します。 新校舎には、市民に開放した図書館機能を取り込み、児童だけでなく地域全体で利用する複合施設とします。	要求額 506,816 査定額 119,791 △一部見直し	155,637 25,603	351,100 94,100		79 88	国の交付金を活用し実施することから、校舎・屋内運動場の建設工事の一部について、平成28年度に前倒しをして予算を計上しました。 校舎を平屋建てのワンフロアにし、ユニバーサルデザインに配慮した安全安心な学習環境の提供を図るとともに、風連地区の核となる施設として、地域全体に親しまれる校舎を目指します。

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
大学 学修環境の向上・バリアフリー化推進事業 名寄市立大学の学生の学修環境の向上を図るため、既存施設の改修を実施するとともに、高齢者や障がい者が施設を利用する際、安全で利用しやすい基礎的な環境整備を実施します。	要求額 50,700 --- 査定額 32,000 △一部見直し			32,000	50,700 0	学修環境の向上として、夏季における勉学環境改善のためエアコンの設置やトイレの洋式化への改修を実施します。 また、大学の本館は建築年度からバリアフリーに対応していない施設であることから、年次的に整備を実施していきます。 大学の各施設については老朽の度合いや、その使用内容を検証し、優先順位をつけながら計画的に改修を実施していく予定です。
要介護高齢者紙おむつ用ごみ袋支給事業 要介護3以上の在宅高齢者の方に紙おむつ処理に要する有料ごみ袋を支給します。 支給するごみ袋は、20リットルの炭化ごみ袋（ピンク）で、年12袋（120枚）を支給いたします。 なお、この施策の実施により、一人当たり約5,000円の負担軽減になります。	要求額 560 --- 査定額 560 ○実施	328		109	560 123	平成28年度から乳幼児紙おむつ用ごみ袋支給事業を開始しましたが、介護が必要な高齢者の方々からもごみ袋の支給に対し、非常に高いニーズや要望がありました。 乳幼児のみならず、高齢者の方々においても紙おむつ処理に係るごみの量は減量化が難しいことなどから、紙おむつ用ごみ袋を支給し在宅で介護されている方々の経済的負担の軽減を図ることにより、住み慣れた地域で長く暮らすことができるよう支援に努めていきます。
地域介護予防活動支援事業補助金 介護予防に資する「通いの場」において、生きがい活動、体操、住民同士の交流などを行なう団体や個人の活動を支援し、地域における介護予防活動の普及・推進を図っていきます。	要求額 420 --- 査定額 420 ○実施	157		210	53 53	名寄市においては平成29年度から介護予防・日常生活支援総合事業を開始します。そのため、名寄市生活支援等サービスネットワーク会議を設置し、通いの場を含めた住民主体の活動について協議してきました。 この事業を通じ、地域の中で多様な通いの場を定着させていき、地域包括ケアシステムの構築に向けて、さらに進めていくため、予算を計上しました。